

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

両沼地方稲作情報 第1号

令和4年3月16日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)

” 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店

(有)山一米穀店、会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区

- 的確な種子予措により良好な催芽種子を確保しましょう。
- 催芽機やハウス内の温度管理を徹底しましょう。
- 灌水は原則午前中に行いましょう。
- ばか苗病の防除にご協力をお願いします。(詳しくは裏面参照)

- 1 気象情報 (気象庁 東北地方 3ヶ月予報(03月~05月)+暖候期予報(06月~08月))
4月および5月の天気は数日の周期で変わるでしょう。4月の気温は、東日本で平年並または高い確率ともに40%です。5月の気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
6月から7月は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。6月から8月の平均気温は、東日本で高い確率50%です。

2 健苗育成のポイント (種子予措~育苗)

○作業の前に...

昨冬は大雪でした。作業前にハウスに損傷がないか確認しましょう。

また、融雪が遅い場所では、除雪や融雪剤散布により春作業に備えましょう。

(1) 塩水選(良い種子を選ぶ)

- ・収量、品質向上、病害虫防除の基本的な対策です。
- ・購入種子でも塩水選を実施します。

(2) 浸種

- ・水温は10~15℃とし、十分な水量を確保します。
- ・種子の発芽揃いを良くするため、積算水温(水温×日数)で100~120℃を目安に浸種を行います。
- ・酸欠防止のため、定期的に水を交換します。

(3) 催芽

- ・温度は28℃とします。
- ・28℃以上では、もみ枯細菌病のリスクが増加します。
- ・休眠が深い種子もあるため、発芽状況をよく確認します。

(4) 播種

- ・発芽不良や覆土持ち上がりの恐れがあるため、覆土後は灌水しません。

(5) 出芽(育苗器)

- ・催芽と同様、温度は28℃とします。
- ・芽の伸びすぎに注意し、出芽率80~90%、芽の長さ5~10mmを目安に緑化へ移行します。

表1 塩水選用の塩水の作り方(水10ℓ当り)

	比重	食塩	硫安(21%)
うるち	1.13	2.1kg	2.7kg
もち	1.10	1.6kg	2.0kg

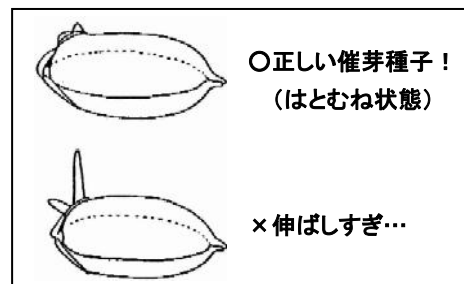


図1 正しいハト胸催芽もみ

(6) 緑化(稚苗・施設内)

- ・緑化温度は日中 25℃、夜間 12～15℃、緑化期間は 2～3 日が目安です。
- ・糲が露出した場合は覆土の手直しをしましょう。
- ・28℃以上の高温や加湿を避け、強い光に急に当てないように管理します。

(7) 硬化(稚苗・施設内)

- ・硬化温度は日中 20℃、夜間 10～15℃が目安です。
- ・灌水は1日1回午前を基本とし、午後の灌水は床土が乾燥しすぎている場合に行います。
- ・夕方以降の灌水は苗の軟弱徒長の原因になります。

○温度管理について

- ・古い催芽機では設定温度と実際の温度がズれる場合があります。使用前に温度計で確認しましょう。
- ・小さなハウスは室温が上昇しやすいです。温度管理に注意しましょう。

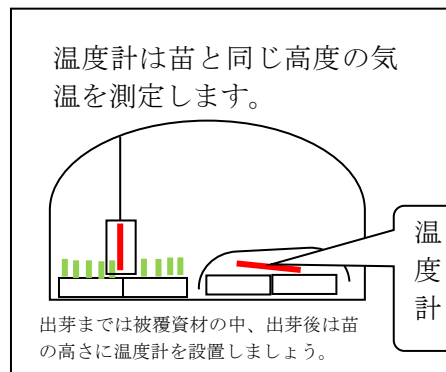


図2 育苗中の温度計の位置

3 ばか苗病防除のお願い

近年、ばか苗病の発生が拡大しています。会津坂下農業普及所管内では、福島県農業総合センター会津地域研究所で水稻の原種を生産するとともに、湯川村で生産者へ供給される種子を生産しています。ばか苗病の蔓延は種子生産に深刻な影響を及ぼし、ひいては全ての水稻生産者への種子供給に影響を及ぼします。以下の点に留意し、適切なばか苗病防除をお願いします。

(1) 種子の適切な管理

- ・消毒済み種子を使用、または適切な種子消毒を必ず行ってください。
- ・塩水選を実施してください。
- ・種糲の床へのべた置きは避け、伝染源となる稲わら、糲殻、粉塵等を除去してください。
- ・前年ばか苗病の発生があった場合、あらかじめ育苗箱や育苗器等の洗浄・消毒を実施してください。

(2) 育苗時の管理

- ・ばか苗は、育苗の中～後期になると葉身が徒長し黄化します。
- ・発見した場合は、株ごと抜き取るか、箱ごと廃棄してください。
- ・抜き取った罹病苗も感染源となるため、土中に埋却する等、適切に処分し、ハウスやほ場内に放置しない。

(3) その他

- ・罹病苗を本田に移植すると、ほとんどは枯死しますが、一部は生存します。
- ・罹病株からばか苗病菌の胞子が数百メートル以上飛散し、汚染源となります。
- ・本田での汚染を防ぐため、種子予措から育苗の段階で適切に防除してください。



図3 ばか苗病(育苗時)



図4 ばか苗病(本田)

- 農薬はラベル等を確認し、適切に使用してください
- 通水のために水路の土砂上げ、草刈り、ビニールゴミ等の撤去をお願いします。
- 農業保険に加入しましょう。

農作業安全運動実施中！

4/1～5/31
安全な農作業を
心掛けよう！

